

大阪

※2023年春実施の全国公立高校入試情報は、2022年12月9日現在によるものです。

1. 日程

[特別入学者選抜(特別選抜)]

I：専門学科(工業に関する学科(建築デザイン科，インテリアデザイン科，プロダクトデザイン科，映像デザイン科，ビジュアルデザイン科，デザインシステム科)，グローバル探究科，美術科，体育に関する学科，芸能文化科，演劇科，音楽科，総合造形科)

II：総合学科(エンパワメントスクール)

III：多部制単位制 I・II部 (クリエイティブスクール)

●学力検査

2/20

○実技検査(I)・面接(II・III)

2/21

(音楽科の視唱・専攻実技 2/18，聴音 2/20)

○合格発表

3 /1

[一般入学者選抜(一般選抜)]

(特別選抜を実施しない全ての学科)

●学力検査

3/10

○合格発表

3/20

※追検査 3/19

2. 学力検査

[特別選抜]

国語：40分・45点

数学：40分・45点

英語：40分+リスニングテスト：15分・45点

理科：40分・45点

社会：40分・45点

<225点満点>

各高校ごとに設定している満点に換算する。→「備考」参照。

※専門学科は実技検査，総合学科と多部制単位制は面接を実施。

実技検査：各検査20～180点，科ごとの合計100～225点。

※国・数・英で各高校が問題の種類を選んで実施。→「備考」参照。

[一般選抜]

国語：50分・90点

数学：50分(60分)・90点

英語：40分(30分)+リスニングテスト：15分(25分)・90点

理科：40分・90点

社会：40分・90点

<450点満点>

各高校ごとに設定している満点に換算する。→「備考」参照。

※国・数・英で各高校が問題の種類を選んで実施。上記検査時間の()は、それぞれ「発展的問題」で選抜する場合の検査時間。→「備考」参照。

3. 調査書

[評定の記載方法]

5段階(絶対評価)

[調査書点の算出方法]

3年重視 9教科を同等に扱う。

■特別選抜

3年9教科×5段階×3+2年9教科×5段階+1年9教科×5段階=225点

<225点満点>

■一般選抜

3年9教科×5段階×6+2年9教科×5段階×2+1年9教科×5段階×2=450点

<450点満点>

※両選抜とも各高校ごとに設定している満点に換算する。→「備考」参照。

4. 合否判定

[調査書と学力検査の比重]

3:7~7:3の5つのタイプから、各高校が選択。

[判定方法]

点数加算方式

調査書の評定点と学力検査の得点に、高校が選択したタイプの倍率をかけた点を合計する。さらに、実技検査の得点(実施した場合)を合計した総合点を主な資料とする。

自己申告書と調査書の「活動/行動の記録」も資料とする。

〈実技検査を実施する特別選抜・一般選抜〉

①総合点の高い者から定員の110%に相当する者を(I)群とする。

②(I)群で、総合点の高い者から順に、募集人員の90%に相当する者を合格とする。

③(I)群で合格が決まっていない者を(II)群(ボーダーゾーン)とし、自己申告書及び

調査書の「活動/行動の記録」により、各高校の「アドミッションポリシー(求める生徒像)」に極めて合致する者を、総合点の順位に関わらず優先的に合格とする。

④合格者が募集人員に満たない場合は、③による合格者を除き、(Ⅱ)群の中から総合点の高い者から順に、募集人員を満たすまで合格とする。

※複数志望がある高校の場合

①全ての受験者を、志望順位に関係なく、総合点の高い者から順に並べる。

②総合点の高い者から順に、第1志望の学科に振り分ける。

③②において募集人員の110%に当たる人数まで、第1志望の者で先に満たした学科から合格者を決定する。

④すでに合格となった者を除き、第1志望・第2志望に関わらず、総合点の高い者から順に合格者を決定する。

〈面接を実施する特別選抜〉

①学力検査の得点が教育委員会の定める基準に達した者から、A 面接・B 自己申告書・C 調査書の「活動/行動の記録」を2:1:1の比率で資料として、各高校の「アドミッションポリシー」に最も適合する者から順に、募集人員の50%までを合格とする。

②残りの者の中から、総合点の高い者から順に合格者を決定する。

※複数志望がある高校の場合

①学力検査の得点が教育委員会の定める基準に達した者から、第1志望の者を対象に、高校の「アドミッションポリシー」に最も適合する者から順に、募集人員の50%までを合格とする。

②残りの者を総合点の高い者から順に第1志望に振り分け、募集人員の100%まで満たした段階で、先にその学科の合格者を決定する。

③100%まで満たしていない学科は、第1志望・第2志望の区別なく、総合点の高い者から順に合格者を決定する。

5. 推薦入学等

特別選抜と同時期に行われる選抜は以下の通り。

■豊中の能勢分校

[検査実施日]

2/20・21

[検査内容]

学力検査(5教科)、面接

※面接・自己申告書・調査書の「活動/行動の記録」…点数化し、300点満点に換算。学力検査点・調査書点と合計して総合点とする。

[合格発表]

3/1

■海外帰国生徒選抜

実施校・学科が指定されている。

[検査実施日]

2/20

[検査内容]

学力検査(数・英), 面接

[合格発表]

3/1

■日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒選抜

実施校・学科が指定されている。

[検査実施日]

2/20

[検査内容]

学力検査(数・英), 作文

[合格発表]

3/1

6. 備考

通学区域は府内全域。

募集人員を複数の学科ごとに設定している高校では、他の1学科を第2志望とすることができる。

いずれの選抜に出願する場合も、志願者は出願時に「自己申告書」を提出(日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒選抜を除く)。各高校は、選抜の資料及び面接の参考資料とする。

※自己申告書…府教育委員会が提示する下記のテーマに沿って記載する。

「あなたは、中学校等の生活(あるいはこれまでの人生)でどんな経験をし、何を学びましたか。また、それを高等学校でどのように生かしたいと思いますか。できるだけ具体的に記述してください。」

※英語力判定テストの活用

学力検査の英語の点数と、外部機関認証の英語力判定テスト(TOEFL iBT, IELTS, 実用英語技能検定)のスコア等を府教育委員会が換算した点数の、高い方を英語の学力検査の成績とすることができる。上記の英語資格を活用する志願者は、出願時に、英語資格のスコア等の証明書の写しを提出。

※追検査

出席停止の扱いを定められている感染症により，一般選抜の学力検査等すべての検査を受験しなかった者は，追検査を受験できる。

[調査書と学力検査の比重と満点]

3：7～7：3の比重の計算方法は以下の5タイプ

I：(学力検査)1.4倍・(調査書点)0.6倍

II：1.2倍・0.8倍

III：1.0倍・1.0倍

IV：0.8倍・1.2倍

V：0.6倍・1.4倍

○特別選抜でIを選択…市立水都国際のグローバル探究科，東住吉の芸能文化科

○一般選抜でIを選択…東，清水谷，夕陽丘，阿倍野，東住吉，池田，桜塚，刀根山，箕面，春日丘，山田，三島，寝屋川，枚方，牧野，香里丘，いちりつ，布施，八尾，河南，富田林，狭山，登美丘，泉陽，金岡，東百舌鳥，高石，和泉，久米田，佐野，日根野，市岡，槻の木，鳳，住吉，千里，泉北，北野，大手前，高津，天王寺，豊中，茨木，四條畷，生野，三国丘，岸和田，今宮，千里青雲，堺東

[学力検査問題の選択]

国語・数学・英語で，3教科それぞれA「基礎的問題」，B「標準的問題」，C「発展的問題」の3種類から各高校が選択する。なお，数学がCであった場合，数学の実施時間は60分。英語がCであった場合，55分内のリスニングテストの比重が，時間・配点ともに増える。

○特別選抜はAかB

○一般選抜

・3教科すべてC…春日丘，八尾，泉陽，和泉，鳳，千里，北野，大手前，高津，天王寺，豊中，茨木，四條畷，生野，三国丘，岸和田

・国・英がC…池田，富田林，住吉

・国がC…旭，清水谷，夕陽丘，三島，佐野，桜和，今宮